

## 文化・芸術

「ハモスピングモール」(部分)  
2015年、カーバスに油彩・水彩・墨(写真  
撮影=木暮伸也)©YAMAGUCHI Akira,  
Courtesy of Mizuna Art Gallery



山口 晃 (1969年~)

桐生の街をモチーフとした本作が、桐生で展示されるのは初めてです。本町通りの商店街は白い壁に囲まれ、ショッピングモールのようになっています。天満宮に近づくにつれ、人々の服装や家の様子を見ると、時代がさかのぼっていくような感覚になります。桐生という街がもつ時間の流れや人々の生活が、ユーモアとアイロニーを交えて描かれています。

山口は東京都生まれ、桐生市育ち。第4回岡本太郎記念現代芸術大賞で優秀賞受賞。11年に桐生ふるさと大使に就任。17年から桐生市初の藝術大使を務めています。最近では東京2020公式アートボスターを制作。21年4月、大川美術館で個展開催予定。

(池田)

※企画展桐生のアートリスト2020は22日まで。出品作家は石原彰一、金原寿浩、小林達也、小松原洋生、丸尾康弘、圓山和幸、森村均、

山口晃。月曜休館。  
本作は、2015年に発表されて以来加筆が続けられ、展覧会初日にも大川美術館展示室で彩色されました。

名画の扉

大川美術館企画展から